

プラスチック耐候試験機

【スガ試験機株式会社 SX-75】

【設備の特徴】

本装置は、太陽光に近似したキセノンアークランプ光源を用いて、日射量、雨量、温度、湿度などの屋外条件を人工的に再現してプラスチック、ゴム等の劣化を促進させる試験機です。特に、プラスチック、ゴムを用いた自動車や家電などの製品は、自然環境による劣化が避けられないことから本装置を用いた劣化促進試験を行うことで短期間で耐久性が確認でき、品質評価、材料物性評価に利用されます。

【設備の仕様概要、技術内容】

■主な特長

- ・自動車用内装部品、及び外装部品の促進耐光性試験方法に準じた試験が可能です。
- ・照射、あるいは暗黒状態、及び断続した水の噴霧(降雨状態)を組みく合わせたサイクル試験が可能です。

■仕様概要

光源	キセノンアークランプ 7.5kW
放射照度波長	広帯域300～400nm 狭帯域340nm、420nm
試験の種類	①照射試験 ②照射＋表面スプレー試験 ③暗黒試験 ④暗黒＋裏面スプレー試験 ⑤暗黒＋表面・裏面スプレー試験



■効果が期待される利用分野

1. 輸送機器産業分野(自動車・航空機部品等の耐候性評価)
2. エレクトロニクス産業関連分野(電気・電子部品の耐候性評価)
3. その他(金属材料、めっき製品、塗装部品等の耐候性評価)

【応用事例】

■効果的な利活用の例



写真1 試験サンプル(例) 自動車部材とダンベル試験片

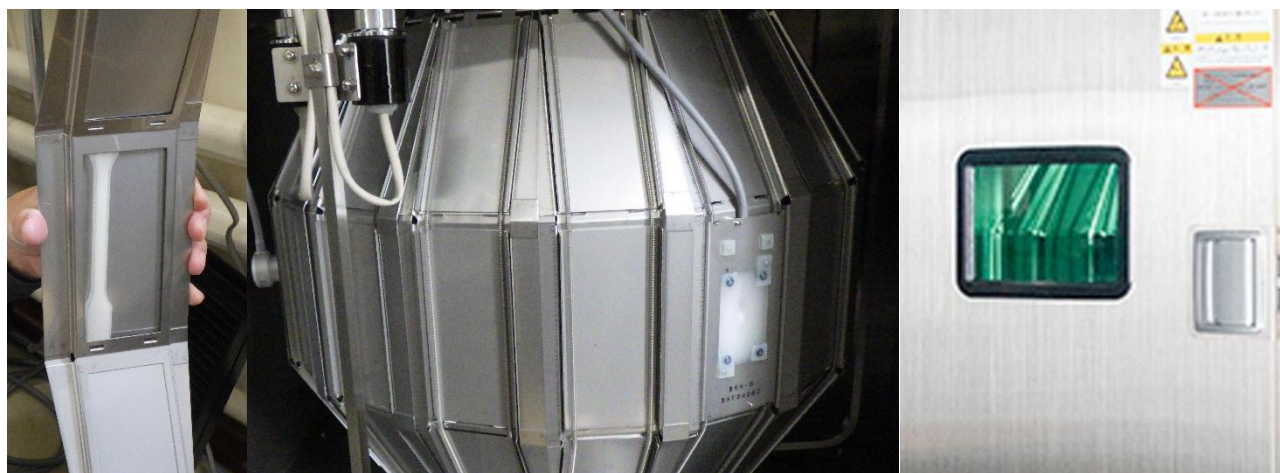


写真2 試験片取付

層内の様子

照射状態

■主な規格試験

- ・日本工業規格JIS K7350-2(プラスチック実験室光源による暴露試験方法―第2部:キセノンアークランプ)
- ・自動車規格JASO M346(自動車用内装部品のキセノンアークランプによる促進耐光性試験方法)
- ・自動車規格JASO M351(自動車部品―外装部品のキセノンアークランプによる促進耐候性試験方法)

【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

先端機能素子開発部 機能性材料・デバイスチーム 阿部 禎也

TEL:018-862-3414 / FAX:018-865-3949

E-Mail: soudanshitu@aitc.pref.akita.jp

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <https://www.aitc.pref.akita.jp/>